



富山市立 光陽小学校

校長：江上 和代 先生

指導教諭：西村 勇嗣 先生

発表児童：6年生 10名

発表テーマ

生き物いっぱい ぼくたち・わたしたちのビオトープ作り (開校初年度からの歩み)～いろいろな種類の生き物が共生する環境作りを目指して～

生き物がいっぱいの水辺のビオトープになることを願って、3年余りに渡って環境づくりに取り組んできた。

子供たちは、多種多様な生き物が共生するにはどうしたらよいかを考え、試行錯誤しながら環境に働きかけてきた。自然が相手で思い通りに進まないことに困惑しながらも、結果として表れるビオトープの変化に素直に驚いたり、問題に取り組んだりした学習の歩みを紹介する。

西村 勇嗣 先生より

生き物がすみやすい水辺の環境づくりを通して、 自然の移り変わりを体感した子供たち

6年生は、光陽小学校の開校以来ビオトープ作りに取り組み、3年余りに渡って、その管理や自然観察を続けてきました。

生き物がいっぱいのビオトープにしたいという子供たちの願いが活動エネルギーとなり思いきり自然とふれ合う体験をすることができ、とても良かったです。

子供たちは、この学習を通して、自然の営みの不思議さや思い通りにいかない難しさを肌で感じ取りました。そして、より良い環境づくりには、生き物同士の共生が必要であり、人と生き物の共生を考えることも大切であることを学びました。

これからの暮らしの中で、身近な自然に思いやりの心を持ち、自然と人間とのつながりを考えて生活できる子供に育ててほしいと願っています。



本校は、旧富山市49番目の小学校として、平成14年4月に開校した新設校で、西田地方・堀川・蜷川の三つの小学校区の一部を分離統合して設立された。

学校周辺は、道路網が整備され、住宅地が増え、商業地域としても活気を呈している。

現在の児童数は653名、「みんないきいき輝いて、夢と希望にまっしぐら」の教育目標のもと、自らめあてをもち、仲間とともに心を通い合わせながら学ぶ元気な子供たちである。



▲ビオトープをいろいろな生き物でいっぱいになろうと活動してきました。



▲みんなで力を合わせて活動した"生き物採集"はとても楽しい思い出です。

◀悩んだり驚いたりしながら、水や生き物とふれ合うことが好きになりました。

考えたこと 感じたこと

ビオトープの 自然環境を通して 思ったこと

伊藤 祐太(6年生)

3年生のときに開校した光陽小学校には、水辺の自然環境ビオトープがありました。ほくはこの場所が大好きになりました。

総合の学習でビオトープ作りが始まり、生き物がいっぱいになることを目指して活動を進めていきました。神通川で生き物採集をしたり、水辺の植物を増やして生き物のすみかを作ったり夢中になって取り組みました。

3年余りのビオトープの移り変わりの中で一番印象的だったのは、アメリカザリガニの大発生です。ザリガニは他の生き物にとって天敵なので、何日もかかってザリガニ捕りをしました。生き物は他の動植物や水とのつながりの中で生きています。ビオトープ作りを通して生態系のバランスについて考えることができました。



学習テーマの設定

ビオトープとの出会い

平成14年に開校したとき、ピカピカの校舎のなかでもビオトープはみんなの注目を集めていました。もっといろいろな生き物がいる楽しい場所にしたいという気持ちがふくらんでいきました。



ビオトープ作りの責任学年に立候補



わたしたちに任せてください。

責任学年に立候補

ビオトープづくりの責任学年に立候補して全クラスを訪問。どんなビオトープにしたいか、そのためにどんな行動をするか説明し、みんなに認めてもらい活動をスタートさせました。

学習の展開

楽しかった生き物採集

ビオトープに入れる生き物を集めるために神通川へ行きました。魚やザリガニ、昆虫、植物などを採集するのはとても楽しい活動でした。

神通川での生き物採集



田んぼの土入れ



話し合って決断

田んぼの土入れについては反対意見もあったので、よく話し合っ決めて決まりました。人手が必要ないような活動でしたが、力を合わせて取り組みました。

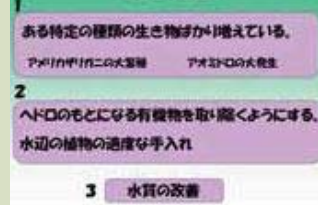
人が手をかける大切さ

すべて自然のままではなく、適度に人の手をかける大切さも学びました。富山市科学文化センターの太田先生のアドバイスで、底のヘドロを取り除き、水中の酸素を増やすためにクロモを植えました。

太田先生のアドバイス



3年目の課題



まわりの環境も育てる

生き物がバランスよく共生するビオトープには、まわりの環境づくりも必要です。いろいろな課題が見えてくるとともに、人と自然の共生には"思いやりの心"が大切だと気づきました。

ホタルがすすめるように

後輩へ引き継がれていくビオトープづくり。ホタルがすすめるようにしたいという新しい提案も出ています。みんなと生き物が楽しくふれ合える場所へ、これからもビオトープの変化と成長が楽しみです。

生き物の紹介マップ作り

